

# VR 構造を基盤とした使役文

横山 昌子

## 0. はじめに

中国語の使役構文としては、「让」「叫」「使」を用いた文や「兼語式」といわれる構造が一般的に知られている。これらは「兼語構造」を基盤とした使役文<sup>1)</sup>と捉えられるが、これらの他に「把」や「得」を用いた文の中にも使役を表すものがある。また、一部の「動詞－結果補語構造」(以下 VR 構造という)が使役の意味を表すことは、王力(1944:159)がこれを「使成式(causative form)」と述べて以来、今日まで多くの研究者により指摘されている。本稿では、使役の意味を持つ VR 構造が、兼語構造を基盤とした使役文とは異なる意味構造を持つことを述語論理式で明示する。同時に、使役を表す「把」構文や「得」構文が、VR 構造を基盤とした構造として統一的に捉えられることを主張する。

## 1. 「VR+対象」の意味構造

李臨定(2011)<sup>2)</sup>は、結果を表す動補構造を含む文を5文型16類に分類し、そのうち3つの類が使役性を持つと述べている。これらの使役性を持つ動補構造は、「対象<sup>3)</sup>(目的語)」を伴っている。以下、これを「VR+対象」と表記する。しかし、李によれば、「VR+対象」であっても、使役性を持つものと持たないものがある。本節では、これらの使役性を持つ「VR+対象」と、使役性を持たない「VR+対象」の意味構造を分析し、使役の生起を考察することにする。なお、使役は他動性を特徴とすることから、本稿では「対象」を伴う他動詞タイプの VR 構造のみを考察の対象とした。



この式の「致使' ( $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$ )」は、使役を表す述語論理式として一般化したものである。しかし、本論では、VR と使役義の生起関係をより明確に捉えるために、「VR'」を使役関数として用いることにする。VR 文における使役の意味は動詞 V の構成する「原因命題」と結果補語 R の構成する「結果命題」が結合した結果生じたものであり、使役の意味は VR に編入されていると考えることができる。そこで、「VR'」を使役関数として用いると、(1)の式は以下のようなになる。

(1' )	吹き ~が° 至リ~が° ~ニ	曲ル ~が°	
	吹弯' [风, 路旁的树木, 吹' (风)&到' (风, 路旁的树木)&弯' (路旁的树木)]		
	$\gamma$ 1	$\gamma$ 2	$\gamma$ 3
サセル	~が°	~ニ	~コトヲ
	$\alpha$	$\beta$	$\gamma$

このように、「吹弯'」は使役関数「吹弯' ( $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$ )」として機能し、文全体として「~ガ~ニ~コトヲサセル」という使役の意味を持つ。 $\gamma$  項は「内包(意味)」を表し、 $\gamma$  1は「意味役割」、 $\gamma$  2は「量化」 $\gamma$  3は「着点」を表す。 $\gamma$  1の“吹' (风)” (風ガ吹ク)は“风”が“吹”という動作の「動作主<sup>5)</sup>」の「意味役割」を持つことを示している。 $\gamma$  2の“到' (风, 路旁的树木)” (風ガ道端の木ニ至ル)は“吹”という動作の終点(時相)を表しているが、これはこれ以上動作量がない、つまり動作量がゼロという一種の「量化」を表す。 $\gamma$  3の“弯' (路旁的树木)” (道端の木ガ曲ガル)は結果命題であり、この命題が自然現象の「着点」を表す。 $\gamma$  項全体は「風ガ吹き、風ガ道端の木ニ至リ、道端の木ガ曲ル」という意味内容を表している。

また、この式は、VR “吹弯” の“吹” “と” “弯” が、文の中で他の成分と結びつくことにより、それぞれ異なった働きをしていることを明示している。V “吹” は“风”と結びつき“吹风”という自然現象を表す自動詞

命題を作り、R“弯”は“路旁的树木”と結びつき“路旁的树木弯”という自動詞（非対格動詞）命題を作っている。それぞれの命題の関係は、前者が「原因」で後者が「結果」であり、それは $\gamma$ 部分の $\gamma 1$ と $\gamma 3$ に表れている。つまり、この使役は「原因使役」であることがわかる。

同様に、(2)の文の意味構造は以下のように表すことができる。

(2) 伍拾子突然挺直了身子（李临定 2011:259）

（伍拾子は体を真直ぐに伸ばした）

- (2')                                 伸<sup>ハ</sup>シ    $\sim$ ガ    $\sim$ ヲ   真直<sup>ク</sup>ニナル<sup>ヘ</sup>ガ  
 挺直' [伍拾子, 身子, 挺' (伍拾子, 身子)&直' (身子)]  
 サル        $\sim$ ガ    $\sim$ ニ                                  $\sim$ コトヲ

次に、B 類：「N<sub>A</sub>+VR+N<sub>O</sub>」の例文から 2 例取り上げ、述語論理式で表してみよう。この類は VR の V が自動詞のものである。

(3) 孩子哭醒了我（李临定 2011:263）

（子供が泣いて私を目覚めさせた）

- (3')                                 泣<sup>キ</sup>    $\sim$ ガ                 泣<sup>ク</sup>    $\sim$ ガ   目覚<sup>ル</sup>    $\sim$ ガ  
 哭醒' [孩子, 我, 哭' (孩子)&到' {哭' (孩子), 醒' (我)}]  
   至<sup>ル</sup>    $\sim$ ガ                  $\sim$ ニ  
 サル        $\sim$ ガ    $\sim$ ニ                                  $\sim$ コトヲ

(4) 我喊哑了嗓子（李临定 2011:264）

（私が喉を叫び枯らした）

- (4')                                 叫<sup>ヒ</sup>    $\sim$ ガ                 叫<sup>フ</sup>    $\sim$ ガ   枯<sup>レル</sup>    $\sim$ ガ  
 喊哑' [我, 嗓子, 喊' (我)&到' {喊' (我), 哑' (嗓子)}]  
   至<sup>ル</sup>    $\sim$ ガ                  $\sim$ ニ  
 サル        $\sim$ ガ    $\sim$ ニ                                  $\sim$ コトヲ





「私が、このような事に、～という状態にさせる」という使役を表す命題は生起しない。したがって、この文を論理式で表すと以下のようになる。

- (8') 見ル ～が ～ヲ 飽キル～が  
 看' (我, 这样的事情) & 到' [看' (我, 这样的事情), 膩' (我)]  
 見テ ～が ～ヲ 至ル ～が ～ニ

次に、F類は Rが形容詞で、RがVと意味関係を持つものである。例えば、以下のような例がある。

- (9) 父亲喝多了酒，独睡在房里 (李临定 2011:261)  
 (父親は酒を飲みすぎ、一人部屋で眠った)

「使役」と関わる“父亲喝多了酒”の部分だけを見てみよう。この文は“父亲喝酒”(父が酒を飲む)と“喝多”(飲んだのが多い)という命題を含む。この2つの命題には因果関係はない。注意すべきは、結果命題は「酒が多い」ではなく「飲んだのが多い」であり、R“多”は「対象」と関係せずV“喝”と関係する。これを論理式で表すと以下のようになる。

- (9') 飲ム ～が～ヲ 多イ ～が  
 喝' (父亲, 酒) & 到' [喝' (父亲, 酒), 多' {喝' (父亲, 酒)}]  
 飲ミ ～が～ヲ 至ル ～が ～ニ

次に、G類はVが自動詞(または形容詞)、Rが他動詞のものである。以下のような例文がある。

- (10) 我跑丢了一只鞋 (李临定 2011:262)  
 (私は走って片方の靴を失くした)

この文は、“我跑”(私が走る)と“我丢了一只鞋”(私が片方の靴を失くし

た) という 2 つの命題を含む。この 2 つの命題が「原因 - 結果」の関係にあるかどうかは議論の余地がある。もし、この文が「私が走って、その結果片方の靴を失くした」という意味であれば、2 つの命題は「先行事象 - 結果事象」であるが、「私が走ることが、片方の靴を失くすという状態にした」という意味だとすれば、「原因 - 結果」の関係になる。しかし、この文では「私が、片方の靴に、～という状態にさせた」という命題は生起しない。なぜならば、結果命題“我丢了一只鞋”を構成する R “丢”は動作主“我”の動作を叙述しているからである。したがって、この文の論理式は以下のようになる。

(10')                      走ル ～ガ 失クス ～ガ ～ヲ  
                                  跑' (我) & 到' [跑' (我), 丢' (我, 一只鞋)]  
                                  走り ～ガ 至ル ～ガ ～ニ

これらのことから、「VR+対象」構造の R が「対象」の結果状態を表さない (7)～(10)の文では、文全体の意味構造は 3 項関数をとらず、使役の意味は生起しないことがわかる。

### 1.3 V と R が結びつく VR 構造の意味構造

前述の例文のうち、(9)以外の文はすべて V と R がそれぞれ名詞成分の  $N_A$  か  $N_O$  と結びついているが、(9)の文では V と R が名詞成分と結びつかず R が V と結びついている。李臨定(2011)によれば、このタイプの VR 構造の R は形容詞に限られる。これまでの議論では、R が自動詞か形容詞かは分けて論じてきたが、ここでは R が形容詞で、R が V と意味的に結びつく VR 構造を考察することにする。加藤 (2009) は、形容詞結果補語を馬真、陆俭明(1997)の「意味指示」(“语义指向”)による分類に基づき 13 タイプに分類し、論理式で明示した。加藤によれば、意味指示とは形式上に明示的に表れない「単語間の意味上の関係」である。加藤は、V と R が結びつく形容詞結果補語 R を、「述語動詞で表される動作行為そのものを意味指



示する」タイプとして、以下のように分析している。

(11) 来早了 (来るのが早すぎた) (马、陆 1997 : 158、加藤 2009 例文)

加藤によれば、この文は「来るのが早い」と「何者かが来る」という2つの命題を含み、以下のような論理式で表すことができる。

(11') 早' (来) & 来' (φ)

本稿では、結果補語の構造は先行事象と結果事象を表わす2つの命題から構成されると位置づける。そこで、先行命題「誰かが来る」と結果命題「来るのが早い」という2命題の時間的前後関係を明示的に示すことにする。また、論理式の項は個体が命題をとるという原則を考慮して以下のように表記する。なお、形容詞結果補語については自動詞相当として関数として扱った。

(11'') 来' (φ) & 早' {来' (φ)}

このように、連言「&」の後の結果事象を表す命題は、「&」の前の先行事象を表す命題を項にとる1項述語として表すことができる。このようなタイプのVR構造は、(9)の文のように目的語を伴ったとしても使役の意味は生じない。

## 2. 使役を表す「得」構文

「得」構文は、「V (動詞または形容詞) + 得 + CP (状態補語)」の形をとり、動作や状態の程度を表したり、動作がもたらす状態や結果を表したりする。状態補語の部分には、形容詞、動詞句、主述構造などさまざまな構造をとることができる。そのうち「V 得」の後ろに目的語を伴うもの、すなわち「(N) + V<sub>1</sub> 得 + N<sub>0</sub> + V<sub>2</sub>」の構造を持つものが使役を表すと指摘さ

れている（李臨定 2011、温琳 2008）。本稿では、このタイプの「得」構文が、基本的には使役性を持つ「VR+対象」と同じ構造であると考えられる。

## 2.1 使役意味を持つ VR 構造と「得」構文

前述のように、「VR+対象」を含む文は、先行事象と結果事象が因果関係にあるとき、使役の意味を持つ。本稿では、使役を表す「得」構文が、これらの動補構造の拡張であるとする立場から分析を行なう。これらの対応関係を簡潔に示すと、以下のようになる。

(12) 使役を表す VR 構造と「得」構文の統語構造

- a. VR 構造 —— VR + 対象  
 (動詞-結果補語構造)
- b. 「得」構文 ——  $V_1$ 得+N<sub>0</sub>+V<sub>2</sub> ⇒ [V 得+CP(=V<sub>2</sub>)] + 対象(=N<sub>0</sub>)  
 (動詞 - 結果補語構造)

このような基本的考えを基に、実際の例文の分析を試みる。李臨定(2011:326)は、動補式の“哭红了眼睛”と「得」構文の“哭得眼睛都红了”は共に「泣いたことが目を赤くなるようにさせた」という意味を表すと述べている。この二つの文の意味構造を考察するために、まず動補構造の文を論理式で表記してみよう。

(13) 哭红了眼睛 (泣いて目が赤くなった) (李臨定 2011:325)

- (13') 泣キ ~が モチ ~が~ヲ 赤イ ~が  
 哭红' [Φ, 眼睛, 哭' (Φ) & 有' (Φ, 眼睛) & 红' (眼睛)]  
 サセル ~が~ニ ~トウ状態ニ

この文では、「泣いたことが目を赤くなるようにさせた」という使役の意味が生じている。「哭红'」は、V と R の結合から生じた使役関数で、「~が~ニ~トウ状態ニサセル」という文型意味を構成している。次に、「得」

構文を見てみよう。

(14) 哭得眼睛都红了 (泣いて目が赤くなった) (李臨定 2011:325)

李臨定によれば、(13)と(14)の文は同じ意味を表し、共に使役の意味を持つ。そうであるならば、“得”の有無に関わらず使役の意味構造が成立することになる。しかし、(14)の文において“得”は不可欠の要素である。なぜならば、この文は“\*哭都红了眼睛”とはいえないからである。“哭得眼睛都红了”では“都”により「目さえも赤くなった」という意味が加わり、結果命題の表す状態が「高い程度」にあることを表している。このように意味が拡張されたために、“哭”と“紅”は直接結合できない。“得”はこれらを結合するための成分として機能している。すなわち、(14)の文における使役の意味は、“得”によって結合された「V 得 CP」によってもたらされる。この結合に“得”が不可欠だということを踏まえ、ここで生起する使役関数を「得’」で表すことにする。この使役関数「得’」は、「～ガ～ニ～トイウ状態ニサセル」という意味を表す3項関数を構成する。使役関数「得’」を用いて(14)の文を論理式で表すと、以下のようになる。

(14’) 泣キ ～ガ 子 ～ガ ～ヲ 赤イ ～ガ モツ ～ガ[高程度]ヲ  
得’ [Φ, 眼睛, 哭’ (Φ)&有’ (Φ, 眼睛)&紅’ (眼睛)&有’ {紅’ (眼睛), 都}]

サセル ～ガ～ニ ～トイウ状態ニ  
α β γ

このように、使役を表す「得」構文は、「得’」を使役関数とする3項関数と捉えることができる。

(15) 得’ (α, β, γ)  
サセル ～ガ～ニ ～トイウ状態ニ

## 2.2 使役を表す「得」構文の意味構造

李臨定(2011)は、使役を表す「得」構文を7つの異なる文型に分けている。以下ではこれらの文について論理式を用いて表記し、意味構造を考察する。論理式は修飾語や副詞などの成分を省略して、使役に関わる部分のみ記述することにする。

(16) 痛苦折磨他吃不好饭，睡不好觉（李臨定 2011:320）

（苦痛が彼を苛んで、ご飯を十分食べられず、十分に眠れなくさせた）

(16') 苛<sub>ミ</sub> ～が～ヲ 食<sub>バ</sub>ラズ<sub>ズ</sub>～が～ヲ 眠<sub>ケ</sub>ナイ ～が～ヲ

得' [痛苦, 他, 折磨' (痛苦, 他) & 吃不好' (他, 饭) & 睡不好' (他, 觉)]

サレル ～が ～ニ ～トウ状態ニ

(17) 有时(她)还整夜的哭，哭得长富也忍不住生气（李臨定 2011:320）

（時々（彼女は）一晚中泣き、長富に怒りを堪えられなくさせた）

この文の“她哭得长富忍不住生气”の部分で論理式で表わすと以下のようになる。

(17') 泣<sub>キ</sub> ～が 至<sub>ル</sub> ～が ～ニ

得' [她, 长富, 哭' (她) & 到' {哭' (她), 忍不住' (长富, 生气)}]

サレル ～が ～ニ ～トウ状態ニ

(18) 豌豆吃得人腿发软，心发躁，好多人都拉了肚子（李臨定 2011:321）

（エンドウ豆を食べて、足の力が抜け、そわそわし、多くの人が下痢をした）

この文の“豌豆吃得人腿发软，心发躁”の部分で論理式で表わすと以下のようになる。

(18') 食<sub>バ</sub>～が ～ヲ 至<sub>ル</sub> ～が ～ニ

得' [豌豆, 人, 吃' (人, 豌豆) & 到' {吃' (人, 豌豆), 发软' (腿) & 发躁' (心)}]

サレル ～が ～ニ ～トウ状態ニ

(19) 这句话又说得大家笑起来 (李临定 2011:321)

(この言葉を言って、また皆を笑わせた)

(19') 言イ ～が ～ヲ 至ル ～が ～ニ  
 得' [这句话, 大家, 说' (φ, 这句话) & 到' {说' (φ, 这句话), 笑起来'  
 (大家) }]  
 サタ ～が ～ニ ～ト忖状態ニ

(20) 三个青年人……故意跑在前边不让五嫂追上, 累得五嫂直喘气

(三人の青年は……わざと前を走って五嫂を追いつかせないようにして、五嫂が疲れて息をきらすようにさせた) (李临定 2011:322)

この文の主語にあたる部分は“三个青年人……故意跑在前边不让五嫂追上”であるので、本来命題として記述すべきであるが、これを[事態 X]と捉え簡略表記すると、論理式は以下ようになる。

(20') 疲レ ～が 至ル ～が ～ニ  
 得' [[事態 X], 五嫂, 累' (五嫂) & 到' {累' (五嫂), 直喘气' (五嫂) }]  
 サタ ～コトガ ～ニ ～ト忖状態ニ

(21) 他急得缩脖子, 皱眉, 掀鼻子, 咧嘴, 简直难看透了, 惹得大家哈哈大笑

(彼は焦って首を縮め、眉をしかめ、鼻をそり上げ、口を横に引き、まったくぶざままで、皆を大笑いさせた) (李临定 2011:322)

この文の主語にあたる部分は“他急得缩脖子, 皱眉, 掀鼻子, 咧嘴, 简直难看透了”であるので、本来命題として記述すべきであるが、これを[事態 X]と捉え簡略表記すると、論理式は以下ようになる。

(21') 影響シ ～が ～ニ 至ル ～が  
 惹得' [[事態 X], 大家, 惹得' ([事態 X], 大家) & 到' {惹得' ([事態 X], 大家), 哈哈大笑' (大家) }]  
 ～ニ  
 サタ ～コトガ ～ニ ～ト忖状態ニ

(22) 村子里，更是漫天的云雾，说得她不像个人（李临定 2011:323）

（村中、さらにはうわさがひどくなり、彼女を見るに耐えられなくさせた）

“村子里，更是漫天的云雾”は比喩的な表現で「村中に悪い噂が広がった」の意である。“说”の動作主は、その“云雾”（悪い噂）を言った不特定の人々であるので、これを「 $\phi$ 」を用いて表記すると以下のような論理式になる。

(22')	言	$I$	$\sim$ が	$\sim$ ヲ	至ル	$\sim$ が	$\sim$ ニ
	得'	[ $\phi$ , 她, 说'	( $\phi$ , 云雾)	& 到'	{说( $\phi$ , 云雾),	'像' (她, 个人)}	}}
	サセタ	$\sim$ が	$\sim$ ニ			$\sim$ ト	仲状態ニ

このように、これらの「得」構文は使役関数「得'」を文型意味とする意味構造を持つ文として統一的に解釈できる。

### 3. 使役を表す「把」構文

本節では、使役意味を持つ「把」構文について考察する。李临定（2011）は、目的語を持つ動補式の文型は、すべて「把」構文に書き換えられると述べている。また、前節で取り上げた目的語を持つ「得」構文についても、「把」構文に書き換えられると指摘している。

#### 3.1 「VR+対象」と「得」構文から「把」構文への変換

李临定（2011:260-267）によれば、1.1 で例文として用いた「VR+対象」を含む文はすべて以下のように「把」構文に書き換えることができる。

(23) 「VR+対象」→「把」構文

- 风把路旁的树木吹弯了
- 伍拾子把身子挺直了
- 孩子把我哭醒了
- 我把嗓子喊哑了
- 他们吵嘴把我吵醒了
- 他喝酒把脸喝红了

また、2.2 で例文として用いた「得」構文も以下のように「把」構文に変換できる（李临定 2011：320-323）。

(24) 「得」構文→「把」構文

- a. 痛苦把他折磨的吃不好饭，睡不好觉
- b. 她把长富哭得也忍不住生气
- c. 豌豆把人吃得腿发软，心发躁
- d. 这句话又把大家说得笑起来
- e. 把五嫂累得直喘气
- f. 把大家惹得哈哈大笑
- g. 把她说得不像个人

### 3.2 「把」構文の意味構造

松村は講義（2011）において、「把」構文は「～ガ～ニ～コトヲモタラス」と意味解釈することができ、広い意味で[授与]を表すので、「把'」を[授与関数]とする3項関数「把'（ $\alpha$ ，  $\beta$ ，  $\gamma$ ）」で表すことができると述べている。

本稿でも、松村の考えを支持し、「把」構文を「～ヲモタラス」の意味を表す授与関数と考える。以下ではこれを基に、「VR+対象」文と「得」構文から変換された「把」構文の意味構造を分析する。

### 3.3 「VR 構造」を含む「把」構文の意味構造

「VR 構造」を含む「把」構文(23a)の文は以下のような論理式で表すことができる。

(23a) 风把路旁的树木吹弯了（李临定 2011:260）

(23a') 把' [风, 路旁的树木, 吹弯' [风, 路旁的树木, 吹' (风) & 到' (风, 路旁的树木) & 弯' (路旁的树木) ]]

	サレル	～ガ'	～ニ	～コトヲ
モタラス	～ガ'	～ニ		～コトヲ
$\alpha$		$\beta$		$\gamma$

上記の論理式を簡単に表すと以下のような構造として示すことができる。すなわち、「把」構文の論理構造では、「授与」を表す3項関数が文型意味として生起し、 $\gamma$ 項に元の「VR+対象」文“风吹弯了路旁的树木”の論理式が代入される。

$$(23a'') \quad \text{把}' \quad ( \quad \alpha, \quad \beta, \quad \gamma \quad )$$

$$\text{モタラス} \quad \sim\text{ガ} \quad \sim\text{ニ} \quad \sim\text{コトヲ}$$

[授与関数]

$$\gamma = \text{「VR 構造+対象」の論理式} = [\text{使役関数}]$$

### 3.4 「得」を含む「把」構文の意味構造

「得」を含む「把」構文(24a)の文は以下のような論理式で表すことができる。

(24a) 痛苦把他折磨的吃不好饭，睡不好觉（李临定 2011：320）

(24a') 把' [痛苦, 他, 得' [痛苦, 他, 折磨' (他) & 到' {折磨' (他), 吃不好' (他, 饭) & 睡不好' (他, 觉) }]]

$$\text{サレル} \quad \sim\text{ガ} \quad \sim\text{ニ} \quad \sim\text{コトヲ}$$

$$\text{モタラス} \quad \sim\text{ガ} \quad \sim\text{ニ} \quad \sim\text{コトヲ}$$

$$\alpha \quad \beta \quad \gamma$$

この論理式では、「把'」は文型意味「 $\sim\text{ガ}\sim\text{ニ}\sim\text{コトヲモタラス}$ 」を表す授与関数として機能している。授与関数「把' ( $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$ )」の $\gamma$ 項には、元の「得」構文“痛苦折磨的他吃不好饭，睡不好觉”の論理式が代入されている。

$$(24a'') \quad \text{把}' \quad ( \quad \alpha, \quad \beta, \quad \gamma \quad )$$

$$\text{モタラス} \quad \sim\text{ガ} \quad \sim\text{ニ} \quad \sim\text{コトヲ}$$

[授与関数]

$$\gamma = \text{「得」構文の論理式} = [\text{使役関数}]$$

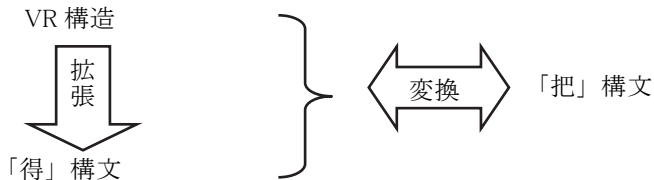


以上のことから、使役を表す「把」構文は、「授与」と「使役」の意味を持つといえる。

#### 4. 結びにかえて

本稿では、「让」「叫」「使」「兼語式」などの兼語構造を基盤とした使役文に対し、使役を表す「VR 構造」、「把」構文、「得」構文は VR 構造を基盤とした使役文として統一的に捉えられるという主張を行った。これらの文は、「原因命題」と「結果命題」の2つの命題を含み、結果補語(句)が VR 構造の「対象」の結果状態を表すとき使役の意味が生起する。使役を表す「得」構文は、「VR 構造」の拡張であり、「得’」は「使役関数」として機能する。一方、使役マーカを持たない「VR 構造」は VR に V と R の結合により生起した使役関数「VR’」が編入されていると考えられる。使役を表す「把」構文は、「VR 構造」と「得」構文の変換と捉えることができ、使役意味は「VR 構造」あるいは「得」構文の意味構造によって生起しているといえる。これらの構造は、以下のような相互関係にある。

(VR 構造を基盤とする使役文)



本稿における使役を表す「得」構文と「把」構文が VR 構造を基盤とする使役構造を持つという主張は、「得」構文が VR 構造の拡張であるということを根拠とする。しかし、「得」構文において拡張された形式と意味についてはさらに考察する必要がある、この点については今後の課題としたい。

## 注釈

- 1) “让”“叫”“使”などを用いた使役構文と「兼語文」は、共に動詞連続構造「 $V_1+N+V_2$ 」を持ち、Nが $V_1$ の目的語かつ $V_2$ の主語として機能する。
- 2) 《现代汉语句型（増訂本）》(2011)。初版には《现代汉语句型》(1986)がある。
- 3) 「対象」は、VRの目的語名詞句の意味役割(Semantic role)として用いている。意味役割は名詞句の述語との意味的關係を表わすものであるが、ここでの述語は動詞Vではなく、VRである(朱徳熙 1982:127 参照)。
- 4) 命題論理、述語論理は、記号論理学の手法を自然言語の記述に用いたものである。命題論理は、文を命題として扱い、記号を用いて命題と命題の關係を明示的に記述する。用いられる連結記号には、連言「&」、選言「∨」、含意「→」、否定「¬」などがある。述語論理は、命題の内容すなわち文の内部構造を扱う。基本的には、命題を述語(predicate)とその述語が要求する項(argument)の組み合わせとして表記する。述語が要求する項の数は述語により異なり、項の数に従い1項述語、2項述語、3項述語のように呼ばれる。述語論理において述語は関数として機能するので、1項関数、2項関数、3項関数ともいう。基本的な論理式を用いると、たとえば(1)のような中国語の文は(2)のように表記できる。述語論理の表現には、記号や自然言語の表現にプライム「'」を付した形式を用いる。

(1) a. 张三走

b. 张三喜欢赵英

c. 张三送赵英一本书

(2) a'. 走' (张三') … 1項述語

b'. 喜欢' (张三', 赵英') … 2項述語

c'. 送' (张三', 赵英', 一本书') … 3項述語

松村(2005)は、関数の項には定数だけではなく関数の値も代入できるとして、基本的な述語論理式を拡張した表記方法を用いて中国語の

“給”“把”“被”の論理構造を示した。松村によれば、(3)の文は(3')のような述語論理式で表すことができる。

(3) 我叫他吃饭。

(3') 叫' {我, 他, 吃' (他, 饭) }

本稿では、松村の述語論理表記法を参考とした。なお、述語論理の表記には、述語にのみプライム「'」を付す簡易表記を用いた。

- 5) 自然現象を表す“吹风”の“风”は無意志性の自然現象主であるが、ここでは“吹风”を動的な活動と捉え、“风”を「動作主」と解釈した。

## 参考文献

- 石村広 2011.『中国語結果構文の研究—動詞連続構造の観点から—』。白帝社。
- 影山太郎 1996.『動詞意味論—言語と認知の接点』。くろしお出版。
- 加藤宏紀 2009.「形容詞結果補語の意味指示と論理構造」『中国語研究論集』: pp.13-39。神奈川大学中国語学科。
- 松村文芳 2005.「「把構文」と「被構文」に用いられる「給」の意味と論理」, 『語学教育研究論叢』第22号: pp.01-34。大東文化大学語学教育研究所。
- 杉本孝司 2007(1998 初版).『意味論 1—形式意味論—』。くろしお出版。
- 温琳 2008.「現代中国語における使役構文の意味と論理構造—その一「使構文」」『人文研究』第164集: pp.189-118。神奈川大学人文学会。
- 方立 2005(2000 初版).《逻辑语义学》。北京语言大学出版社。
- 龚千炎 2012(1995 初版).《汉语的时相时制时态》。商务印书馆。
- 李临定 1963.〈带“得”字的补语句〉《中国语文》第5期。
- 李临定 2011(1984 初版).《现代汉语句型(增订本)》。商务印书馆。
- 王力 2002.〈中国语理论(节选)〉(1944 初版),《王力选集/二十世纪现代汉语语法八大家》: pp.159-164。东北师范大学。
- 朱德熙 1982.《语法讲义》。商务印书馆。

Chao, Yuen Ren. 1968. *A Grammar of Spoken Chinese*. Berkeley; Los Angeles, University of California Press.

## 付記

本稿は修士論文「中国語の使役構文の意味構造」(2013)の第4章を基に大幅な修正加筆を行ったものである。